

提案内容は千差万別 柔道整復師として 笑顔のためにできること

間もなく開院より2年を迎えるひろも接骨院。本稿では2回目の登場となる坂口院長。接骨院として治療に向き合ってきた中、現在の取り組みや方針を改めて伺いました。開院から今までに、どんな変化が見られたのでしょうか。

再認識した仕事の魅力

ひろも接骨院には、日々、つらい症状を抱えた人たちが相談に訪れています。その症状は多種多様。治療を重ねても変化が実感しにくいようなこともありま

柔道整復師としての変化

「一人ひとりをよく「見る」ようになった」という坂口院長。来院し

原因とどう向き合うかが大事なんです」と、坂口院長。痛みの改善が一時的なものとならないよう、治療として、痛みを和らげた後に、再発防止のための提案は欠かせないと言います。

痛みが出ないようにするための筋力トレーニングもその一つ。個別にメニューを作成して、二人三間で体の健康のために取り組んでいます。そこまで取り組むことができたのは、全て「ありがとう」と「笑顔」をもらえるから。



今月のWao!人Star
西濃で活躍するスターたちを紹介
VOL.31

ひろも接骨院
院長 坂口 弘明

坂口 弘明さん HIROAKI SAKAGUCHI

今後の方針

「職業病とも言えるかもしれませんが、立ち方や座り方にまで、自然と目がいき、体の不調の原因を探ろうとしてしまいます」。

自然と知人に紹介されて来たという人も増加。接骨院としての信頼が定着してきている証拠です。それがこの2年間で得られた真摯な取り組みに対する答えと言えるかもしれません。

一人ひとりに治療内容は違うものの、共通して一番時間を割くようにしているのは、現在の症状についての説明と、今後の治療計画。「現状と今後の方針に理解をいただくこと、それを何より大切にしています」。

治療は施術者一人の努力で行うのではなく、患者側にも改善のための協力姿勢が必要です。同じ目標を共有し取り組むからこそ、得られるものは大きい。

「まずは信頼してもらえ、患者様の理解者になることを心がけています。そして前向きな思いで通ってもらえる。笑顔あふれる接骨院であり続けたい」と、笑顔の坂口院長。その思いがどのように広がっていくのか、今後も楽しみにです。



坂口弘明さん（岐阜県揖斐郡出身）
総合学園高等学校卒業。在学中はバスケットボール部に所属し全国大会出場。岐阜県保険短期大学医療専門
学校卒業（国家資格・柔道整復師免許取得）。整形外科、鍼灸接骨院での勤務を経て、2016年1月開業

ひろも接骨院（整体院併設）

☎0584-84-2455

■大垣市墨保町墨保字長池499-9

■9:00~12:00 / 15:00~20:00

平日午前は予約優先制

土 9:00~15:00

■日・祝・第3土曜日

■有



▲「はじめて来院する人や緊張しやすい方、通いやすい
高層ビル、空間にこだわり、接骨院



▲待合室の壁には、坂口さんが撮影した墨保の
四季の写真を今後飾っていく予定

コミュニケーションが結ぶ笑顔 心を開き向かい合う よりどころとなる接骨院を目指して

体のメンテナンスだけではなく、心のケアまで行っている。接骨院、来院者のことを考え、人を支えることを目標として、夢を追った坂口さん。これまでの経験から受け止めた現実と、今だからできること、その先に描く未来を伺いました。

目指す姿を見つけた時

今年1月、墨俣町に開院した「ひろも接骨院」丁寧なカウンセリングと、院長のホスピタリティが話題を呼んでいます。施術を受ける人も前向きに、その言葉には坂口さんの「憧れ」がありました。

高校生までは、子どもが好きという理由から、漢方と保育士になりたがっていました。坂口さん、その将来の目標が大きく変わったのは、高校時代の部活動中だと言います。バスケットボール部に所属し、日々汗を流して来ました。そんなある日のプレー中、



今月のWao!人Star
西濃で活躍するスターたちを紹介
VOL.22

ひろも接骨院
柔道整復師

坂口 弘明さん HIROAKI SAWAGUCHI

柔道整復師へ

身近な存在から衝撃的な印象を与えられて、坂口さんの将来設計が始まりました。まずはトレーナーから詳しく話を聞くことに。しかし、得てきたのは「トレーナーだけでは食べていけない」という言葉。その人は5つのチームを掛け持ちしサポートを

（他の選手と接触し）ケガをした坂口さん。その時、帯同していたトレーナーがすぐに駆け寄り、素早く処置を施す姿を目の当たりにしました。「ケガをした痛みより、トレーナーの笑顔とした姿に」「かっこいいな、僕もこのう人になりたいな」と、その手際の良さに見とれていました。その当時の良さを思い出して、その時をきっかけに人を支える人になりたいと、夢がうにうに現れたそうです。

独立 接骨院開院

坂口さんは仕事の魅力を「人を笑顔にできること」と語ります。「初めのうちは辛く、話をしかけていた人でも、次第に「かなり楽になった」「歩くのが困難だったけど、今では毎日散歩もできるようなった」と言っていて、その声を聞くことが、本当に良かったと思います」と笑顔を見せます。

「ここではスタートがゴールまでの流れを丁寧に説明することを中心にかけています。カウンセリングに時間も使います。病院での受診が必要と判断すればそのことをちゃんと伝えます。真摯な姿勢で一人ひとりと向き合い、ケガをした、痛みがある、そんなときに頼ってもらえる、地域の人に寄り添える「ひろも接骨院」でありたい。坂口さんの夢は、地域の人の生活を支える形で実現しました。

資格を取得し学校を卒業した後、坂口さんは将来の選択肢を広げるために、まずは柔道整復師の資格を取得することを決意。

資格を積み重ねるために、接骨院、整形外科、鍼灸接骨院など4施設で修業を重ねました。中には症状が重い人の施術を担当することもあり、技術や知識不足を痛感する場面もあったと言います。「施術を受けて満足してくれればいいと思っていましたが、相談に来る人は良くなることを望んでいるんですね。その経験を今につなげるんです。柔道整復師としての根本的な考え方、開院前、最後の修業の場で学んだと坂口さんは語ります。

今までは一つの症状に対し、その症状を緩和するため集中的に改善を図っていましたが、その院では体全体を総合的に考えていた。例えば「腰の痛み」に対しては、その筋肉で起こっていることが原因となっているのか。その人の肩から負担のかかっている根本を探り出すなど。治療家という意識で、接骨院としてできる新しい考え方が身についていると言います。

してると耳にします。それならばと、坂口さんは将来の選択肢を広げるために、まずは柔道整復師の資格を取得することを決意。

資格を積み重ねるために、接骨院、整形外科、鍼灸接骨院など4施設で修業を重ねました。中には症状が重い人の施術を担当することもあり、技術や知識不足を痛感する場面もあったと言います。「施術を受けて満足してくれればいいと思っていましたが、相談に来る人は良くなることを望んでいるんですね。その経験を今につなげるんです。柔道整復師としての根本的な考え方、開院前、最後の修業の場で学んだと坂口さんは語ります。

今までは一つの症状に対し、その症状を緩和するため集中的に改善を図っていましたが、その院では体全体を総合的に考えていた。例えば「腰の痛み」に対しては、その筋肉で起こっていることが原因となっているのか。その人の肩から負担のかかっている根本を探り出すなど。治療家という意識で、接骨院としてできる新しい考え方が身についていると言います。



坂口弘明さん（岐阜県墨俣町出身）
総合学園高等学校卒業、在学中はバスケットボール部に所属し全国大会出場。岐阜保健短期大学医療専門学科卒業（国家資格/柔道整復師免許取得）。整形外科、鍼灸接骨院での勤務を経て、2018年1月開業。

ひろも接骨院（整体院併設）
☎0584-84-2455
☑大垣市墨俣町墨俣字長池499-9
☑9:00~12:30/15:00~20:00
☑土 9:00~15:00
☑日・祝・第3土曜日
☑有



▲自給自足で食料を採る人が集まるという、温かみのある建物。空間にたいは坂口さん。



▲待合室の壁には、坂口さんが撮影した墨俣の四季の写真を今後飾っていく予定。

Wao! Club 8月号にて
当院長が特集されました!

「病院」ひろも接骨院

PRで
坂口院長のコメント
をチェック!

患者様の「痛み」にしっかりと耳を傾け、
私は真の治療家を目指します



院長 坂口 弘明さん

揖斐川町出身。岐阜総合学園高校バスケ部に所属し全国大会に出場。大学に進学し柔道整復師免許を取得。接骨院、整形外科、鍼灸院での修行を経て、2018年1月墨俣町にひろも接骨院開院。

私が大切にしているのは患者様の声に耳を傾け、ともに治療する姿勢。丁寧に問診し、施術方法や今後の治療プランなどを納得するまで話していきます。痛みを取るのには当たり前。重要なのは、痛みを再発させないような体作りを患者様と一緒にしていくことです。ぜひ、些細な悩みもお話してください。あなたの辛さを私が共有し、一緒に治療を進めていきます。

PROMOTION

- スポーツによるケガ治療・交通事故治療・姿勢アドバイザー
- 時間外電話受付しています
(緊急の対応、時間外予約もできる限り対応します)
- 足裏測定会開催(詳しくはスタッフまで)
足裏測定会って?足裏を測定することで身体の歪みや重心のバランスが分かります

大垣市墨俣町墨俣字長池499-9

☎0584-84-2455

